

# 令和2年度の事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日

特定非営利活動法人 静岡団塊創業塾

世界中がパンデミックに陥り、我々の活動拠点、「シニアライフ支援センター・くれば」は昨年3月以降閉館を余儀なくされた。一年以上を経ても終息の兆しは見えない状況が続いている。世の中でリモートワークが推奨されたように、我々も昨年4月からビデオ会議システムのZOOMを使った「オンライン居場所」を試行し、一定の成果を上げることが出来た。年度の後半は「くれば」をZOOMサテライトとして開放し、部分的ではあるが「くれば」をオープンしている。

コロナ禍で様々なイベントやセミナーが中止されるなか、「地域デビュー支援事業」は、回数は少なかったが、菊川市、静岡市、焼津市、熱海市で開催できた。シニア劇団くれば座もコロナ禍の影響を受けたが、藤枝市で開催された「介護者を励ます会」にて初のZOOM公演を成功させた。昨年2月にSPAC県民月間として舞台芸術公園BOXシアターで公演した際と同様、静岡朝日テレビにて報道された。

## 1. シニアライフ支援センター「くれば」運営

### (1) ミニセミナー事業

「オンライン居場所」にて、セミナーとサロンを試行し、「川柳会」「朗読会」「ピンピンコロリ研究会」等、定期開催プログラムが生まれた。毎週日曜日にプログラムをMLの通知を継続している。

### (2) 歌声喫茶

「新さんの歌声喫茶」もオンライン居場所で継続中。リアル居場所と同様土曜日に行っているの  
で、「くれば」サテライトの人気企画となっている。

### (3) NPO事業企画会議

「ZOOM企画準備会」が代替するかたちでスタートした。17回継続後「おしゃべりサロン」の名称で継続中。リアルでの「持ち寄りパーティー」が無いのためか参加者数は限定されている。

### (4) ランチ会

「くれば」閉館中のため今年度は一度も開催されなかった。

### (5) レンタル事業

レンタルルーム5回実施した。

### (6) 自治会研究班活動

活動休止に追い込まれた。

### (7) でん伝体操活動

平成30年度から自主活動団体として登録し、毎週水曜日の午前中に継続開催、3年が経過した。  
コロナ禍でも感染対策を講じて続けている。

### (8) 寸劇事業

シニア劇団くれば座は、藤枝市でのZOOM寸劇公演の一回のみだった。ZOOMを使っての打合せや情報交換は定期的に継続している。

## 2. 地域デビュー支援事業

令和2年度の本事業の実施結果を下表に示す。

### (1) セミナー形式で実施分

※会員が「事例紹介」として登壇したのは焼津市のみ。

場所	日程	イベント名	結果
菊川市	8月： 昼1回	100年時代の楽しみ方	参加者8名、コロナ禍で主催者は集客に苦労した。
静岡市	10月： 昼1回	葵区ボランティア養成講座	参加者は12人。終了後のアンケート調査で高評価を得た。
焼津市	11月： 昼3回	新元気世代啓発セミナー初級	参加者8人、コロナ禍で主催者は集客に苦労した。
熱海市	12月： 昼1回	セカンドライフ応援セミナー	参加者20名。応募者は30名を越えたが三密回避で足切り。

### (2) 講演形式で実施分

無し

## 3. シニア劇団「くれば座」活動

藤枝市から依頼のあった「介護者を励ます会」にて公演した。

通算	時	場所	演目
第15回	R2年11月11日	藤枝市小杉苑	天使に好かれた男

## 4. 外部機関との関係構築、ピアール活動

### (1) 静岡大学須藤先生とコラボ講座

静岡県大学の須藤准教授との連携が進んだ。全てZOOMを使ったもので、学生の団創会員へのインタビュー、筑波大学との合同セミナーに団創会員参加、等。

また須藤氏には「川柳会」で使用する投稿フォーム（データベース）を設計していただいた。

### (2) フリーペーパー「コレカラ」と協力

シニア向けフリーペーパー「コレカラ」を発行する(株)LEAPH社との連携も継続中で、「移住者対談」や「くればウォーキング」が掲載された。

### (3) 「くれば」視察受け入れ

無し

### (4) その他の外部ピアール

無し

## **5. 情報発信活動**

### **(1) メールマガジン発信**

毎月25日に継続発行し、現在73号となった。ZOOMイベントの実績や、各種行事等の告知をしている。会員予備軍や退会者への情報伝達手段となっている。

### **(2) 「くれば」予定表の配架**

オンライン居場所活動にシフトしたため予定表作成は中断した。ただし今後はリアルとオンラインのハイブリッド居場所開催にシフトする予定で、概要をまとめた予定表を4月より再開した。

## **6. 会員数の推移**

令和2年度は10名の方が入会された（マンパワーカフェ関係者集団入会5名、ZOOM活動からの入会2名、等）。ここ数年、退会者数と入会者数が拮抗しており、会員数としては横ばいでほぼ100名である。但しコロナ禍で「くれば」での活動が制限されると会員数の減少が懸念される。

静岡団塊創業塾が従来から取り組んでいる4仕掛け（会って、繋がって、磨いて、輝く）については、下記のような実績を残した。

### **(1) 人生100年サミット**

令和3年1月に第3回を実施した。テーマは「地球温暖化：シニアができることを語り合おう」、団創会員の西林秀晃氏に基調講演をお願いした。サミットとしては初めてZOOMで同時開催し、ハイブリッド方式の経験を積むことが出来た。

### **(2) 定期交流会**

くれば閉館のため、リアルな交流会は実施できなかった。その代わりにZOOMで行った、「オンライン居場所」活動がその役割を果たしたと言える。

### **(3) 磨きあい塾**

今年はZOOMにて3回（大隅：ビジネスプラン、石広：自分史セミナー、西島：ログハウスプロジェクト）実施した。様々な場面で会員同士磨きあう（≒相談しあう）方針は維持したい。

### **(4) 熟年セミナー**

上記のような「地域デビュー支援事業」の実績ができた。受託数を増やすことが課題である。

上記事業を行うために、第一土曜日午後に定例理事会を12回、臨時理事会を1回行った。

1. 居場所運営事業写真 (オンライン+リアル)



ZOOM川柳会



「くれば」サテライト (歌声喫茶)

2. 地域デビュー支援事業写真

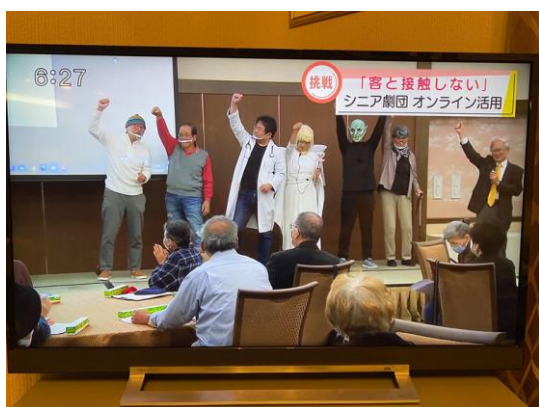


焼津市「新元氣世代セミナー」



熱海市「セカンドライフ応援セミナー」

3. その他事業の写真



くれば座「藤枝、介護者を励ます会」公演



人生100年サミット「地球温暖化」